



やっ報

2014年 4月10日 No105

発行 松本あきお後援会

TEL (0847-82-2149)

<http://www.kagayakinet.ne.jp/~matumoto-313>

Eメール matumoto-313@sky.kagayakinet.ne.jp



神石高原中学校入学式

26年度予算

合併10周年・新たな挑戦

92億2千万円でスタート

地域力を回復し、活力ある町づくり

神石高原町の26年度一般会計予算は、「歳入に見合った歳出」を基本に編成され、総額92億2千万円となり、前年度より、3千万円(0.3%)減の予算となりました。内容は、人件費・借金の返済などの義務的経費が、1億7千万円減額し、建設事業などの投資的経費が、2千5百万円増額しています。消費税率引き上げの影響を最小限に抑え、町の将来を見据えた予算としています。

新年度予算の概要・基本理念の5項目の柱

I 高原の特徴を活かした 快適で魅力に満ちた町 づくり

- ①ふるさとふれあい事業を「協働の町づくり事業」に変更。2千万円。
 - ②合併10周年記念事業
 - ③安心・安全な町づくりの消防積載者の更新など
 - ④定住促進団地の販売、空家バンク制度の活用
- II 保険・医療・福祉が
充実した安心して暮ら
せる町づくり**
- ①町立病院の充実
 - ②医師オーダリングシス

テムの更新、人口透析等 医療機器の整備

- ②認知症対策の充実
 - ③子育て支援の充実
 - ・保育所利用料の軽減↓
 - ・第3子以降半額
 - ④予防接種の無償化
 - ・土曜日午後保育の実施
 - ・肺炎球菌ワクチン等
 - ・妊婦の歯科検診
- III 自然と歴史を活かした教
育・文化の町づくり**
- ①中高一貫教育の実施
 - ・油木高校と連携し、

教師の相互派遣、英語 スピーチコンテスト、 学力向上対策

IV 地域資源を活かした活力 ある産業と交流の町づく り

- ①未来創造支援事業の実施(県の産業対策・過疎対策の補助事業)
- ・産直市場の経営見直し
- ・6次産業化の推進
- ・食用ナマズの商品化
- ・神石牛ブランドの再構築

V 交通・情報通信基盤の 整った一体感あふれる 町づくり

- ①かがやきネットにより、情報通信サービスの充実
- ②道路網の整備
- ③道路ストック総点検事業
 - ・路面、擁壁など道路施設の老朽化対策
- ④道路維持対策
 - ・道路側溝の清掃に補助金制度を新設
- ⑤交通手段の確保
 - ・バスやタクシーなど交通手段の確保と見直し

26年度会計別予算総括表 単位:万円

会計名		予算額
一般会計		92億 2,000
特別会計	国民健康保険	11億 4,390
	後期高齢者医療	3億 9,640
	介護保険	19億 3,380
	簡易水道事業	2億 0,000
	飲料水供給事業	3,940
	農業集落排水事業	2億 5,740
計	総合開発事業	5,210
	分収育林事業	10
計		40億 2,310
病院事業会計		4億 5,131
合計		136億 9,441

町民1人当たりの予算 一般会計=90万円
特別会計を加えた予算= 135万円

あなたに代わって おたずねしました。 松本議員の一般質問



◎新庁舎の建設は

◎ 国道182号線の沿線に

松本 新庁舎の建設については、合併協議会の中で、建設場所は、国道182号線沿いと同意されていた。

重点公共施設の新設整備基金の積立が行われ、新町建設計画の中にも新庁舎の建設が加えられた。合併10周年を迎え、このように考えているのか。

町長 新庁舎の建設は、合併時に国道沿いで検討すると言っ申し合わせがあり、これを尊重し、町の中心点付近で各地区から交通の便利の良い場所を選定すべきだと思う。庁舎の建設については、補助金は無く、町の財源が、合併特別債を借りるしかない。平成31年度で、合併特別債が終了する。これらを踏まえて決めたい。

松本 現在の庁舎は、増築・改築を重ねているため、機能性に欠ける点が多い。又、現在の庁舎は進入路も狭く、拡張も難しい。

合併後、職員の適正化計画も順調に進み、安定している。現在の職員数を基準に、新庁舎の規模をきめても良い時期に来ていると思う。

合併特別債が使える31年度まで、後5年しかない。庁舎の建設については、町民の理解を得るにも時間がかかると思うので、早い段階で具体的な議論を始めるべきだと思うが、町長の考えは。

町長 新町舎の建設には、2年間の建設期間が必要なので、平成29～30年度で建設したい。財源確保のため、建設時期までに、重点公共施設の新設整備基金を3億円は積みたい。(25年度末で1億5千万円積立の予定)

この任期中に、建設場所・時期を決めたい。

町立病院の運営

新築・改修計画は

松本 町立病院の指定管理による運営も2期目に入る。新しい協定書を結びにあたって、町長は、設置者としての意見をどのよう述べたのか。整形外科医などの確保については。

町長 各方面にお願いしているが確保はできていない。
松本 町民の要望の強い、午後や土曜日の診察は。

町長 町立病院は、救急病院の指定を受けているので、土曜日や午後の診察も行っている。油屋地区や、高蓋診療所の診察、訪問診療・物忘れ外来・予防接種等平常の診察以外の業務を午後行っている。診療時間の拡大は難しい。

松本 看取りの対応についても、多くの町民が望んでいるがどのように取り組むのか。

町長 町立病院だから、最後の看取り位は行ってもらいたいと思っている。訪問診療で、24時間体制の訪問看護により、在宅での療養を

看取りを希望されている人には、在宅でも入院とほぼ同じ対応をしている。

松本 民間の訪問看護センターとの連携は。

副町長 地域包括支援センターの機能を充実して調整する。
松本 人工透析については、継続するのか。

町長 機械の更新も行い、引き続き行う。

松本 耐震調査を受けての病院の規模は。

町長 旧館は、耐震強度を満たしていない。病院の機能・規模については早急に検討する。現在のうち6割に規模を縮小せざるを得ないのである。



音楽療法による健康教室・油木福祉会

問 統合中学校・工事の遅れは 答 関東地方の雪害である

松本Ⅱ統合中学校の工事が大幅に遅れているが、原因は。教育長Ⅱ直接の原因は、2月14日～15日の関東地方の大雪により、本体工事に使う屋根材の加工を行う会社の工場が破損し、加工済みの製品が破損したため、屋根材の出荷が不可能に成った為である。

また、昨今の経済状況の推移を的確に把握していなかつたのではないかと、

たために入札が不調になった事も要因の一つである。松本Ⅱ当初の行程表では、年末までに屋根は完成の予定であった。行程表のとおり、工事が進んでいたら、関東地方の雪害も関係なかったのではないかと、

入札の不落も、24年末に事業の繰り越しを議決していたのだから、もう少し早く入札すれば、これほど遅れる事はなかったのではないかと、

教育長Ⅱ屋根のコンクリート打ちなど、雪のため遅れた。入札の遅れは、統合に

ついての地域や保護者への説明会に時間をとられ入札の時期が遅くなった。松本Ⅱこの地域は、冬に雪が降るのは予想されている事である。三和小学校の建設でも、雪のため業者は非常に苦労された

ものため2回事業



油木中学校最後の卒業式



福山市民マラソン大会

教育長Ⅱ保護者には、3月12日から14日までの3日間説明会を開催し、理解を得ていく。

松本Ⅱ工事が遅れたために、教育内容の充実についての取り組みが遅れる事はないのか。教育長Ⅱ教育内容の充実については、統合が決まってから企画委員会が協議している。工事の遅れにより、教育環境面の影響はあると思うが、教育内容を充実させる事に関しては、影響はないと思う。

松本Ⅱクラブ活動について、保護者からアンケートをとられたが、どのように反映されたのか。陸上部や吹奏楽部の新設は、教育長Ⅱアンケートについては、保護者会の説明会で報告した。その結果をもとに、企画委員会や教職員で、現行のクラブを参考に検討している。松本Ⅱ現在のクラブは体育系では、球技のみで、文科系では、美術部のみである。生徒の選択旨を増やすべきではないかと、

教育長Ⅱクラブ活動については、新中学校の校長が判断するものである。

職員の早期退職者

が多いのは

松本Ⅱ本町では、職員の早期退職が多い。退職された人に聞くと、ほとんどが努力されないと言われる。職場の環境に問題があるのではないかと、

町長Ⅱ合併後の財政状況を考え、対象職員が退職勧奨に応じて早期退職をしてくれた。この事については、感謝している。

25年度からは、勧奨は行っていない。

職場環境については、毎月労使による安全衛生委員会と職場巡視を行い、職場の意見も聞きながら、環境改善を取り組んでいる。

松本Ⅱ職員の減少による行政サービスの低下をどうカバーするのかが、

町長Ⅱ職員が減り、業務量が増えている部分はある。

業務委託の拡大など事務事業の合理化を行い、行政サービスの維持に務めている。

松本Ⅱ60歳の定年まで務められるよう職場環境を整えて欲しい。

新年度の特徴的な事業

合併10周年記念事業

11月9日を予定

神石高原町は、本年合併10周年を迎えます。これを記念し、町民の更なる一体感の醸成を図るため、合併10周年記念事業が取り組まれます。内容は、式典・イベント等が、取り組まれますが、具体的には、実行委員会を組織して計画されます。11月9日の予定で、予算は3百万円です。式典では、功労者の表彰も行われます。



都市住民を受け入れ、地域おこし活動の支援などを行いながら、合わせて協力隊自身の定任を図り、地域の活性化を図る目的で、平成23年度に2人、25年度に4人採用し、昨年は6人が活動していました。23年から活動されて

地域おこし協力隊 新たに3人募集

いた、谷口哲一さん・沖本成昭さんが、期間満了となりました。2人とも町内に残って、新しい仕事で、定任されます。そのため本年度3人を募集しています。4月30日までの募集で、5月に試験、6月から採用となります。2人は今までのとおり、地域振興の活動、1人は観光を主体とした、地域ツーリズム△開発などに取り組む予定です。

地域おこし協力隊の皆さん

現在の協力隊員は、徳田好朗（東京都）小笠野洋平（横浜市）荒木尚美（岡山市）三枝幸樹（京都市）の4人です。要望のある自治振興会に出向いて、一緒に地域づくりに取り組んでいます。

学校の図書館に

図書館司書を配置

皆さんから要望の強かった（昨年6月議会での一般質問で要望）学校図書館に、図書館司書が4月から配置される事になりました。

司書の資格を持っている人を臨時職員で採用し、神石高原中学校に配置されます。統合中学校の図書等の整理・運営、児童・生徒への読書の指導、図書館の利用促進を図ります。

仙養ヶ原・観光開発にPFI手法を導入

仙養ヶ原の観光開発について、新たにPFI方式を導入して取り組む事になりました。

PFIとは、公共事業を実施するための手法の一つです。民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設などの設計・建設・維持管理・運営を行う方法です。発注者はあくまで地方公共団体で、公共事業として行うものであり、NTTやJRのような民営化とは異なります。



仙養ヶ原マルシェ・真夏の雪祭り

PFI事業では、設計・建設・維持管理・運営といった業務を一括で発注します。これにより民間のノウハウを幅広く生かすことができます。安くて、質の高いサービスを提供することができます。

町では、仙養ヶ原の観光開発・維持管理を、このPFI方式により広く公募して、応募のあった事業者を審査して受注業者を決定します。新年度で公募して、決定し

有害鳥獣対策

猿対策を強化

被害の多い有害鳥獣対策について、特に猿の対策が強化されました。

パイプ型の猿補獲を3基設置します。要望のある地域に設置されます。

集落ぐるみで、防護柵を設置する場合は、以あたり、500円の補助が新設されました。

又、補獲奨励金も、猿が、2万円に、鹿が1万円に増額され、アライクマが追加され1千円となります。

ます。

他の自治体でもこの方式は取り入れられ、学校給食センターや、公立病院、図書館などで取り組まれています。

このPFIの導入にあたって注意する事は、民間企業に幅広い業務を任せる事になるので、業者の業務内容をよく把握して、管理も指導を行う事が必要です。又、企業を選ぶ場合には、価格だけでなく、事業者のノウハウや事業計画について評価しなくてはなりません。